

トロオドン(傷つける歯という意味)は、北アメリカの白亜紀後期の地層から見つかっている小型の肉食恐竜です。全長は約2メートルと推定され、目と脳が発達していて、現在の鳥に近い知能を持っていると考えられています。トロオドンの歯の後側の鋸歯(ギザギザ)はとても大きく、鋭く尖った形をしています(写真左下)。

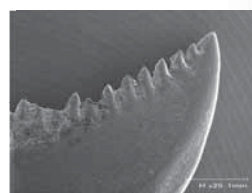
このような特徴から、いわゆる「恐竜人間」の原型として取りあげられたこともあります。1982年にカナダ国立自然博物館のラッセル博士が示した「恐竜人間」(ティノサウロイド)は、このトロオドンを原型にしています。

モンタナ州ではこの恐竜の卵が

恐竜時代への旅

第37話

モンタナの恐竜 ートロオドンと巣の化石ー



DATA

トロオドンの復元図(上)、歯の電子顕微鏡写真(左下)と巣の化石(右下)。スケールは1ミリメートル。

並んだ巣の化石が見つかっています(写真右下)。この巣の中には22個の卵が産み付けられた状態で残っています。よく観察してみると、卵が一つずつ、円形に並んでいるように見えます。2005年にカナダ国立自然博物館の佐藤た

まき博士(当時)らによって、オビラプトル類の体内に二つの卵が残った状態の化石が科学雑誌「サイエンス」で報告されています。このようなことから、巣の中央に座った雌の親が巣の外側に向かって二つずつの卵を産み落としていった可能性が指摘されています。

(写真真) 恐竜博物館池上直樹(絵) 同宮本厚子

子育て日記



長女・梓紗ちゃん(3歳・左)

長男・蒼真くん(8カ月・右)

みんなに支えられ

わが家は、4月から幼稚園に通い始めた元気いっぱいおてんば娘のアズとお姉ちゃんから愛の鉄拳をうけても泣きもせず、マイペースにおもちゃをなめている蒼くん。最近は2人で遊び、笑い合う事が増えてきましたが、8カ月前は私も娘も辛い日々でした。赤ちゃんへのヤキモチから私にしがみつき毎日泣きじゃくっていたアズ。そんな時ママ友や支援センターのスタッフが「ミルクあげようか?」「蒼くん抱っこしとくよ」と言ってくれ相談にものってくれました。何でも言い合えるママ友、アズや蒼くんに声をかけてくれる人たち、パパ、じいじ、ばあばみんなに支えられ子育てさせてもらっているんだなぁっと思い、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとう。

(文・写真/坂本 篤子お母さん・豊秋)

健康へのエント

からだの健康は歯ぐきから

歯周病菌が体のさまざまな病気に影響していることが分かっています。中でも特に注目を集めているのが生活習慣病との関係です。歯周病予防が生活習慣病を防ぐことに繋がります。歯磨きがとても大切です。

①歯周病予防は肥満を防ぐ

よく噛んで食べると、唾液がよく出て口の中がきれいになります。同時に、満腹感が得られて、食べ過ぎを防止し、肥満を予防します。

②歯周病が糖尿病の悪化、心臓病を引き起こす

歯周病に歯ぐきの炎症によって出てくる物質(TNF-α)はインスリン(*)の働きを妨げます。また、歯周病菌が血液の中に流れ込むと、心臓の内膜が炎症を起こすなど命に関わります。さらに、心筋梗塞などのリスクも高めます。

*インスリン: 膵臓で分泌されるホルモンで血糖を下げる唯一の物質

毎日の歯みがきにプラスして歯ぐきケアを!

歯周病予防には歯と歯の間や奥歯の後ろなど歯ブラシだけでは歯垢をとりにくい部分のケアが大切です。デンタルフロスや歯間ブラシ、ワンタフトブラシ、洗口剤など自分に合ったものを選び、1日1回(できれば夜)に歯ぐきケアを行いましょう。



保健センターでは、健康相談を受け付けています。お気軽にご連絡ください。
保健センター(健康推進係) ☎282-1602



Library Information

町立図書館 カルチャーセンター1F
☎ 282-0888 休館日/毎週月曜日

Book おすすめ 今月の本

猫背の虎 動乱始末

真保 裕一 著

安政2年10月2日、直下型大地震が江戸を襲った。新米同心虎之助は町人たちの難題を江戸中を駆けずり廻りながら解決していく。



消失グラデーション

長沢 樹 著

とある高校のバスケット部員椎名康は、ある日、女子バスケット部のエース網川緑が校舎の屋上から転落する場面に遭遇する。複雑に絡み合う謎と真相に多感な若き探偵たちが挑む!



新刊書情報

5月は118冊の本が入りました

- 一般書(60冊)
 - 小説/白馬山荘殺人事件 (東野 圭吾 著)
 - 小説/ヒトリシズカ (菅田 哲也 著)
 - 人生訓/下山の思想 (五木 寛之 著)
- 児童書(58冊)
 - 絵本/くまとやまねこ (湯本香樹実 著)
 - よみもの/ココロ屋 (梨也アリエ 著)
 - 地球科学/地球の声に耳をすませて (大木 聖子 著)

おじいさんならできる

フィービ・ギルマン 著・絵
芦田 ルリ 訳

ヨゼフが赤ちゃんの時、おじいちゃんがブランケットを縫ってくれた。そのブランケットは古くなったが、おじいさんの手によって新しい使い物に変身していく。

